

百二十周年記念事業の報告と感謝

校長 曽根一男

立百二十周年記念事業に際しましては、同窓会より多大なご支援を賜り、ありがとうございました。後援会からのご支援と合わせて、記念事業に有効活用させていただきました。主な事業を報告します。

◆キャッチコピー等の作成

「十人十色 生徒の数だけ色がある」というコピーと「伸びゆく青年像」をモチーフにした「のびぞうくん」というキャラクターを生徒作品の中から選定しました。それを使つた横断幕を作成しテニスコート付近のフェンスに電車から見えるように掲げ、創立百二十周年をアピールしました。合わせて、スクールカラー



昨年度の創立百二十周年記念事業に際しましては、同窓会より多

百二十周年記念事業の報告と感謝

校長 曽根一男

をD.I.C.(大日本インキ)63Pと制定しました。鮮やかな濃い緑色です。

◆記念行事開催

創立記念日の十月十一日に体育館で行いました。卒業生の打楽器奏者、新野将之さんの演奏、曾根による学校の歴史紹介、生徒企画の未成年の主張、モザイクアートの披露など。当日夜は同窓会主催の祝賀会も開催されました。

◆人工芝の広場整備

旧講堂跡地、希望の鐘(同窓会館)の前に八百平方メートルの人工芝を敷き、多目的の「希望の広場」を整備しました。生徒たちがダンスやラグビーの練習をしたり、グルーピング談笑したりする姿が毎日見られます。

「希望の広場」の名称を掲げた金属プレートの地色が前述のスクールカラーです。

◆記念品作成

記念キャラクター「のびぞうくん」を使った缶バッジ二種、ボールペン二色、A4判クリアファイルを作成し創立記念日に全校に配布しました。



2019年(令和元年)
7月発行
埼玉県立所沢高等学校
同窓会
所沢市久米1234
☎04(2922)2185

= 目次 =

(6) (5) (4) (3) (2) (1)	校長あいさつ
同窓会長挨拶・木村先生訃報	サッカー部創業50周年・5年ぶりの旅行
在校生支援プログラム	平成三十一年度 進路実績
同窓会名簿を元に (活躍する卒業生)	同窓会役員名簿・決算・予算報告
(12) (11) (10) (9) (8) (7)	卒業しました どうぞよろしく
事務局から	部活動紹介
	平成三十一年度 進路実績
	同窓会役員名簿・決算・予算報告



ロータリー付近の様子、右奥が同窓会館。右手前が120周年の人工芝「希望の広場」

同窓会の運営

同窓会会长 松本明信



皆さんこんにちは、如何お過ごですか。

今年も同窓会報をお送り

させて頂きます。同窓生の寄稿文、会報をお送りさせて頂きまし。同窓会の開催報告、在校生支援事業、三十年度卒業生の進路状況、学校の様子など掲載させていただきました。学校の一年も先生並びに生徒さんの活躍は素晴らしいものがありました。

また会の運営、会報の編集等担当の先生には御礼申し上げます。昨年秋には、創立百二十年の記念行事も順調に行なうことが出来ました。関係者の皆さんに感謝申し上げます。また記念して発行した同窓会名簿についても、多くの賛助金のご協力と購入に感謝申し上げます。更には講堂跡地の人工芝の設置は、在校生の皆さんに大変好評とお聞きしています。

さて、今年に入り同窓会には訃報が入ってきました、木下武文副会長です。一九六二年卒で長く母校の英語の教師として、勤務いただく傍ら同窓会の運営に関わっていました。実は私が同窓会に関わるきっかけは先生の誘いでした。二十五歳の時、学年同窓会のことで相談した際、役員就任を乞われました。以来半世紀が経ちました。先生の同窓会に寄せる想いは素晴らしいものでした。多くの貢献をいただきましたが、中でも二十年前の百周年記念事業は先生なしでは考えられません。同窓会館「希望の鐘」の建設を始め、多くの事業を成し遂げてきました。多くの難題の解決に当時の先生方への協力を取り付け、また多くの卒業生の協力を説得し、事業の成功に結び付きました。木下先生有難うございました。衷心よりお悔やみ申し上げます。

さて、昨年は百二十年事業の他、在校生支援事業始め各事業を進めて参りました。役員の皆さんにも感謝を申し上げます。今度も素晴らしい新入生を迎え、新たな令和元年がスタートしました。百二十年を区切り良き伝統を継承するとともに、同窓会の運営にも更に工夫を求められていると認識しています。

少子高齢化が進み社会のあらゆる場面に、従来の予想を超えた事象が表れています。所沢高校で学んだという母校愛持つ同窓生の皆さん、同窓会に対し何をすべきかなど、運営に関しても忌憚ないご意見をお聞かせください。役員は知恵を絞つてよろしい組織に努力させて頂きます。

		同窓会副会長(元・本校教員) 木下武文氏(七十五歳)		同窓会		同窓会	
昭和五十七年	昭和五十八年	昭和五十九年	昭和六十一年	昭和六十二年	昭和六十三年	昭和六十四年	昭和六十五年
同四一年	同四一年	同四一年	同四一年	同五六年	同五六七年	同五六年	同五七年
埼玉県立所沢高校卒業	埼玉県立所沢高校卒業	埼玉県立所沢高校卒業	埼玉県立所沢高校卒業	母校在職一八年で離任	母校在職一八年で離任	その後、尚美学園大学参与に就任	その後、尚美学園大学参与に就任
◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴	◆ 経歴
平成四年	平成四年	平成四年	平成四年	平成一年	平成一年	平成一年	平成一年
二年一組・三年八組(学年主任)	二年一組・三年八組(学年主任)	二年一組・三年八組(学年主任)	二年一組・三年八組(学年主任)	同五年	同五年	同五年	同五年
◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任	◆ 学級担任
校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作	校歌・応援歌CD制作

- 昭和六〇年 所沢高校同窓会報創刊
- 同六一年 創立百周年記念事業推進委員会発足
- 同六年 会名簿発刊
- 平成元年 創立百周年記念館を講堂跡地に決定
- 同二年 百周年記念事業(体育館増改築)で陳情
- 同八年 百周年記念事業(中庭緑化)
- 同一〇年 百周年記念事業(寄付金募集開始)
- 同一年 百周年記念講演会
- 同一年 「百周年記念誌」発行
- 同一年 「百周年記念の集い」祝賀会開催



クラス写真(平成9年)

●木下先生からは高校時代の思い出として、昭和三五年夏、野球部が甲子園出場を目指した実事上の優勝戦(準決勝)、対大宮高校戦での「紙吹雪が大宮球場のスタンドに舞った」と話す。全校応援を懐かしむ姿が目に浮かびます。合掌

(記・同窓会監事岡村能成)

記念冊子・「所沢高校百年の歩み」発行

記念冊子・「所沢高校百年の歩み」発行

**所沢高校サッカー部創部五十周年
記念パーティーを盛大に開催!**

所沢高校サッカー部二期

昭和四十五年卒 田畠喜久男

平成三十年(2018年)九月二

十二日(土)、所沢高校サッカー部創部五十周年記念パーティーが、所沢高校サッカー部OB会を中心とした実行委員会(森田彰実行委員長四期 昭和四十七年卒)の主催により、所沢市民文化センター(ミューズ「ザ・スクエア」)において百三十名を超える卒業生、現役生にお集まりいただき盛大に開催されました。

当時は、来賓として藤本正人所沢市長、柴山昌彦衆議院議員(現文部科学大臣)、曾根一男所沢高校校長、松本明信所沢高校同窓会会长にご臨席をいただきましたほか、監督としてご指導いただいた山崎英美夫先生、布瀬直次先生、高橋清史監督にもご出席をいただきました。

記念パーティーでは、初めに参加者全員による記念写真、森田実行委員長のあいさつ、続いてご来賓のあいさつ、次いで曾根所沢高校校長の乾杯のご発声で、楽しい宴に入りました。

した。各年代の卒業生や現役生との懇親が深まつたところで、高橋先生による現役紹介と近況報告、山崎先生、布瀬先生のあいさつの後、私たち「創部当時の思い出」と題してお話をさせていただきました。その後、

一期から順に同級生の紹介と現役当時の思い出話や、校歌斉唱なども行われました。また会場内では、スライド上映、所沢高校サッカー部の「Fight With FREEDOM」の横断幕(所沢高校サッカー部OB会寄贈)や、歴代のユニフォーム、思い出の写真などが飾られ、卒業生同志が懐かしく談笑しながら見ていくのが印象的でした。各テーブルでは、時間の経過とともに各年代の在学中の思い出話などでさらに盛り上がり、大変有意義な記念パーティーとなりました。

この記念事業を契機に、所沢高校サッカー部OB会では、新たな時代のスタートに現役サッカー部の活躍を願いながら、更なる会の活性化に取り組んでいくことにしています。

結びになりますが、所沢高校サッカー部創部五十周年記念パーティーの開催にご尽力いただきましたOB会員の方々、特に事務局の曾根智、

佐藤学両氏(十六期 昭和五十九年卒)に心から感謝を申し上げます。

**五年ぶりの旅行
昭和四十六年卒業三年七組**

近藤幸夫・金澤節子

還暦旅行から五年、二回目の一泊旅行(六月十九日~二〇日)を実施して長野方面に行つてきました。貸し切りバスの中は、十三名の仲間が青春時代に戻つて賑やかに楽しにく過ごしました。



善光寺、小布施散策をして、戸倉上山田温泉に宿泊。宴会ではデュエットの連続で盛り上がり、終盤では踊りも加わり最高潮でお開きになりました。この日はサッカーワールドカップコロンビア戦が行われ、一部屋に全員集合して観戦し、日本の勝利で心地よく一日目が終了しました。翌日は北向観音に行き、善光寺と両参りを果たし、皆さんの健康とクラス会が長く続く様お祈りしました。わがクラスは年一回のクラス会を開いて十〇年近くになります。毎回二十名くらいの参加者で、賑やかに、楽しく過ごしています。常任幹事の私達が元気なところからも実行していくります。「所高生に普ができる」となる様に。

この楽しみが皆さん元気の「源」



『活躍する卒業生』

霧ヶ峰・八島湿原 「ヒュッテみさやま」 より



八島湿原の広がり

三井 悠(平成十五年卒)
私は長野県の霧ヶ峰・八島湿原の一角で小さな山小屋の管理人をしています。広々とした草原がどこまでも続き、四季折々の自然の変化がと

ても美しい高原です。山小屋の管理人になるというのも、ちょっと珍しい生き方かもしれませんね。

私の霧ヶ峰との出会いは、幼い頃の家族旅行に始まります。祖父が大の山好きで、特に霧ヶ峰高原がお気に入り…、そのため、小さいころの夏休みの旅行は必ず霧ヶ峰でした。

祖母は早くに亡くなっていたので、祖父を囲む形で私の家族と叔母や従兄弟たちも加わる賑やかな旅行。常宿としていた小さなペニションがあつて、幼いながら

に「山の宿」という仕事に憧れを抱いていたのを覚えてています。

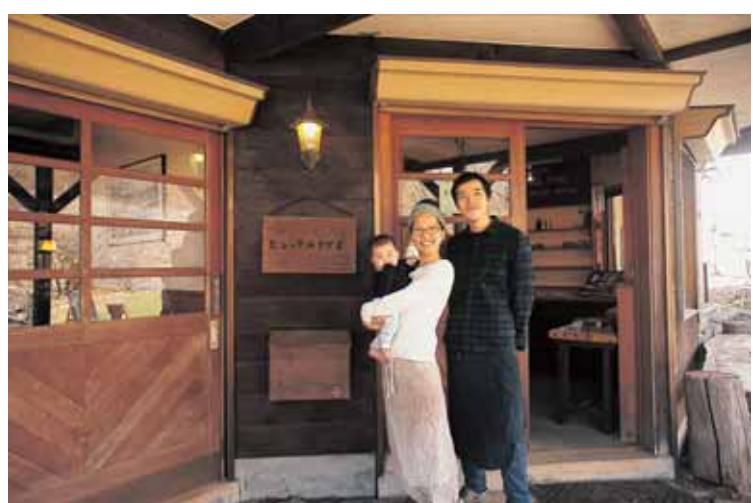
所沢高校に入ると、友人の影響で山岳部に入りました。トレーニングも半々に友人たちとボーリングに通つた「所高生らしい思い出:笑」も濃厚ですが、夏の合宿で訪れた、穂高岳や上高地、北岳などを通じて、信州の大きな自然に接し、少なからず自然を感じる心が養われてい

つたのだと思っています。同じ山岳部の先輩に信州大学に入学した人がいて、高校三年生の春に美ヶ原に連れて行つてもらいました。その時、夕暮れに沈みゆく松本平と北アルプスを望みながら、こんな場所で大学生活を過ごせたらと、私も信州大学を目指すことにしました。

翌年、信州大学に入学。先述の先輩が住むアパートの二つ隣の部屋を借りて学生生活が始まりました。先輩には、サークルから学業の助言まで語りつくせぬほどお世話になつたのですが

長くなるのでこの辺で…。実は入学時は工学部だつたのですが、自然に深く関わりたくなつて二年生で農学部に転学。長年にわたつて霧ヶ峰の研究をしている先生がいると聞いて、植物生態学の土田勝義先生を訪ねてゼミに入れて頂きました。

そしてこの頃、祖父が他界したのです。お葬式は教会で行われ、祖父の友人や同僚、山の先生など沢山の方々が祖父を慕つて楽しい思い出を



三井さんの家族

語りました。その時、初めて知った祖父の素顔、生き方、やさしさ…。生前、祖父と真剣に語り合うといふようなことは一度もなかつたけれど、祖父の面影は私の中に残り、その人柄や生き方がそのまま自分の目標と語りました。「祖父のように生きる…。」それがこの時から今も変わらぬ私の道しるべです。そんな気持ちもあり、祖父が愛していた「霧ヶ峰」という山が、自分にとつても大切な故郷のような

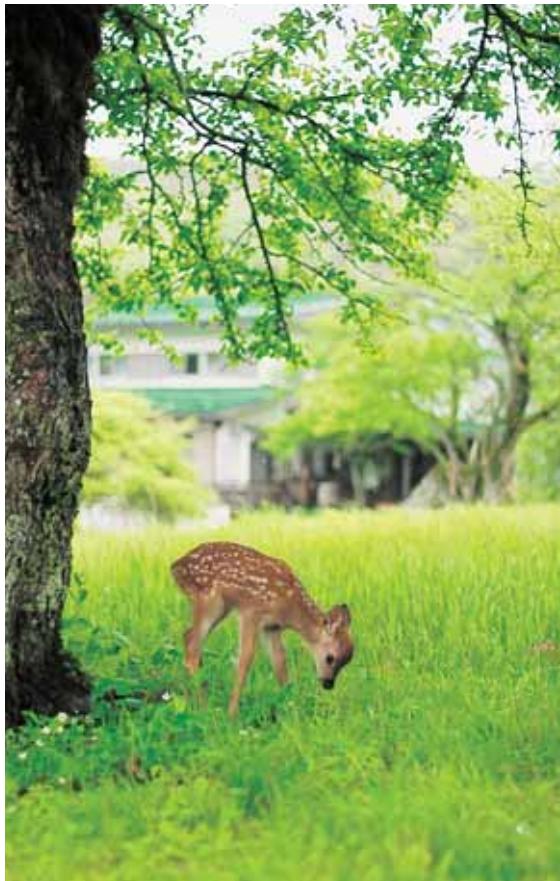
特別な場所になつていつたのです。

大学の後半は霧ヶ峰自然保護センターのインターインシップをして美ヶ原で卒業論文を書きました。そして、ペンションをやりたいという想いが心中にくすぶつていた私は就職活動を放棄。卒業後のことばは保留にして学生生活を続けました。そんな私を、先の自然保護センターの職員さん（ゼミの先輩でもある）が見つけ、八島湿原のビジターセンターで働くかなかと誘つてくださつたのです。

必然か偶然か、不思議なくらい縁は縁を呼び、運命はいつも自然に道を開いてくれる。一途に何かを思いながら、八島湿原のビジターセンターで働くかなかと誘つてくださつたのです。島湿原で働いてから小屋番になるまでの経緯はとても書ききれないのを省略します。沢山の出会いや別れがあり、今は（経営主体の会社の支援の元で）妻と昨年生まれたばかりの娘と三人で小屋番を営んでいます。こうして自分の人生を振り返つてみると、「自分で切り開いてきた」というよりも、「沢山の方々とのご縁や気持ちが、私を今の場所に導いてくださつた」と言つたほうが正しいです。私はそんな方々に何もお返しすることが出来ませんが、小屋番としての仕事を丁寧に重ねていることで、今まで私を助けて頂いた方々の気持ちを、自分の周りの方々に向け繋いでいけたらと思つています。また、所沢高校では、自主的に夢や希望にあふれた生き方を自然に身につけている友人・先輩たちから多分に影響を受け、ボート過ごしていた自分を「これでいいのか」と思ひ始めたことが、その後の人生を動かしていく原動力となりました。

そういう意味で、所沢高校で過ごした三年間は、かけがえのない貴重な時代であつたと思っています。

さて、霧ヶ峰高原はなだらかな大地に広大な草原と湿原が広がり、登山に慣れてない方でも気軽に訪れるこのできる高原です。体力や時間に合わせて、バリエーション豊かなコース選びが可能で、遠く見渡す山々を眺めながら解放感溢れるハイキングが楽しめます。名前の通り霧が出る



近くに訪れた子鹿

屋番としての仕事を丁寧に重ねていることで、今まで私を助けて頂いた方々の気持ちを、自分の周りの方々に向け繋いでいけたらと思つています。また、所沢高校では、自主的に夢や希望にあふれた生き方を自然に身につけている友人・先輩たちから多分に影響を受け、ボート過ごしていた自分を「これでいいのか」と思ひ始めたことが、その後の人生を動かしていく原動力となりました。



薪ストーブとダイニング

日も多く、特に朝方、夕方には霧に包まれた湿原に柔らかな光が差し込み、息をのむような幻想的な風景に出会えます。

同窓会会員名簿より

創立百二十周年を記念して同窓会会員名簿を作成しました。

その作業を通して大先輩から貴重なお話しを伺うことができましたので紹介します。(同窓会事務局)

仲 清さん宅を訪問して

大正十年、東村山生まれ。昭和十五年所沢商業学校卒業。仲さんはご高齢にもかかわらずとてもお元気で、在学当時のご友人もしっかりと覚えていらっしゃいます。卒業時の担任は山形高校、東京帝大哲学科卒の安原先生で魏志倭人伝の話をしてくれたそうです。仲さんは英語が得意だったのです。安原先生は商業大学への進学を勧めてくれたそうですが、所沢にあつた陸軍航空整備学校の発動機班に進学、さらに昭和十九年に東山村所在の商工省(軍需省)機械試験所自動車部に技術職として入所。代用燃料車(電気自動車)の実務研究に従事されたそうです。昭和三十一年には主任研究員、昭和五十五年に産業技術総合研究所が筑波に移転されるまで勤め上げられ、自動車関係の特許もいくつも取得されました。ご自宅に同つて驚いたことに写真機四百台・蓄音機百台のコレクションがすばらしく、愛用のクレデングザ



仲さんが出版された本



クレデンザを操作する仲さん

(VV-80)という名機でSP盤の楽曲を聴かせていただきました。平成二十九年には(株)円窓社から百三十五ページにもおよぶ『寫眞機と蓄音機マイコレクションから』という本を出版されました。アマチュア無線歴も六十年以上(開局は都下四番目)で外国との交信も楽ししまれていらっしゃる所の大先輩です。

所高校歌作詞者 三浦弘子さんを囲んで

漸く春めいてきた二月半ば、校歌の作詞者である高校第二回卒業生の(昭和二十五年卒)三浦弘子さんと同級生の吉井国子さん、奥津ヨネさん(昭和二十四年卒)にお集まりいただき、当時の話を伺いました。

三浦: 当時は尋常小学校高等部を卒業してから女学校に入学しました。

入学時は二クラスで、高等女学校四年生で卒業するか、五年生まで残つて高卒になるかを選べました。奥津: 私は四年生で卒業しました。一年長く残つた人は十三人だけで

した。

吉井: 入学試験は、学科の試験の他に面接があつて、「民主主義とは何か」といった質問をされました。

男子は所沢駅から歩いて山の学校と呼ばれたかなり離れた校舎まで歩いて通学していました。女子が西所沢駅から、今の所沢小学校付近の校舎まで歩いて行きました。

奥津: 男子と一緒に授業を受けたことはなく、運動会の時だけ男子部の運動場にいきました。ダンスを

した覚えがあります。

吉井: 二年生か三年生の時の国語の授業で、詞を書く宿題が出され、三浦さんの詞が選ばれました。

三浦: 兄に手伝つてもらつたと思ひます。先生が手直しした所もありましたが、「みつは輝く」の部分を書いたのはよく覚えてています。



中央が三浦さん、右：奥津さん、左：吉井さん

音楽の仲先生が曲を作られ、校歌として発表されました。

卒業アルバムを見ながら、吉井: クラスの集合写真には、担任の桑原先生を始め、懐かしい先生方も写っています。

奥津: 吉井さんと私は文芸部に入っていました。写真の中央にいらっしゃる児童文学者の内木村治さんが、文芸部の指導によく来てくれました。

三浦: 御岳山や奥多摩に行つた遠足の写真もありますね。修学旅行は三年生の時に箱根か日光で、高校になつてから京都・奈良に行つたよう思います。

奥津: 三年前に開いた「八十五歳の集い」には十二人集りました。

懐かしい友だちの思い出など、話題は尽きず、和やかなひとときはあつという間でした。ありがとうございました。

朝早くから音楽室に来て練習をする

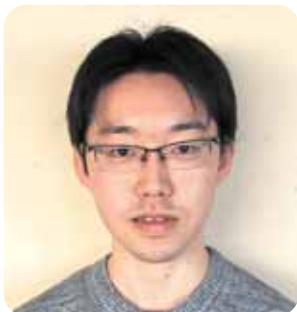
私の所沢高校での生活は、様々なことを学び経験ができた三年間でした。その中でも部活動が私に与えた影響は大きかったです。

私はギター部に所属していました。入学当時、私はどの部活動に入部するか全く決めていませんでしたが、仮入部期間に、ギター部で初めてギターに触れて、ギターに興味を持ちました。音楽が好きだったと言うこともあり、ギター部に入部することに決めました。私はそれまでギターを弾いたことはありませんでしたが、先輩方の演奏を聴いた時にとても大きな衝撃を受け、自分もそんな風に演奏したいと思うようになりました。

私の所沢高校での生活は、様々なことを学び経験ができた三年間でした。その中でも部活動が私に与えた影響は大きかったです。

私はこの三年間の部活動を通して、努力することの大切さを改めて感じました。しかし、この努力は私一人だけでなく、周りの影響も大きかったと思います。共に頑張る仲間がいたからこそ、より練習に力を注ぐことができました。一人の地道な努力も大切ですが、部活という大人数の活動としては、仲間と目標に向かって努力することも大切だと感じました。私はこのような部活動と共に過ごした仲間がいることは一生の宝です。

私は春から大学へ進学します。これから道のりは初めての事も多く、厳しいと思います。しかし、高校三年間で学んだ事や経験は、必ず自分の力になると思います。この先も日々の努力を怠ることなく、将来に向かって一歩ずつ進んでいきたいと考えています。



平成31年3月卒業

伊藤 大河

仲間を見ると、自分ももっと頑張らうと思いました。自分たちで目標を持つて活動した日々はとても充実しており、かけがえのないものでした。最後の定期演奏会に向けては、よりいつそう練習にはげみ、それまで一番の演奏ができたと思います。仲間と一つの演奏を作り上げたことは今になってはよき思い出です。

私は三年間の所高生活で学んだことは、信念を持って継続することの大切さです。私は女子サッカー部に入るために所沢高校に入学しました。入部前はサッカーをすることだけを考えていたのですが、入部してから引退するまで苦しいことがほとんどでした。しかし、多くの上手く出来ました。しかし、その多くの上手く出来た経験が私をより成長させてくれていると思います。周りの人と、傾ける気持ちの大きさが違つても、すぐに引き下がつて足並みを揃えるのではなく、自分の信念を持ち続ける強さを与えてくれました。

三年間の所高生活の中で、これから人生の糧となる大きなことをいくつも学ぶことができました。これから先も上手くいかないことや、初めて経験することが多くあると思います。それでも、一つ一つのことに疑問を持ち、常に学び、挑戦することを忘れずにいたいです。

一〇一九年三月卒業しました どうぞよろしく



平成31年3月卒業

山野 蕉

平成30年度 部活動の記録

(主なもの)

【運動部】

男子バレー部

県高等学校新人大会西部地区予選会

第3位

弓道部

3月 西部地区大会 個人3位

陸上競技部

5月 学校総体県予選 ヤリ投 第8位

6月 県陸上競技選手権 400m

第5位

9月 県新人陸上競技大会 400m

第2位

10月 U18日本選手権 400m出場

第10回日本陸上競技選手権リレー

10月 大会U18男女混合4×400mR

第7位

【文化部】

演劇部

9月 県高等学校演劇地区発表会

ブロック代表として中央発表会

8月 優秀賞・さいたま市教育長賞・

劇団埼玉賞

12月 関東高等学校演劇研究大会

優秀賞

8月 第42回全国高等学校総合文化祭

文化連盟賞

音楽部

8月 第42回全国高等学校総合文化祭

候補団体選考会

ギター部

8月 全国高等学校総合文化祭埼玉県代表

推薦(県代表) パシヨネット賞

書道部

8月 第42回全国高等学校総合文化祭

文化連盟賞

第42回東京学芸大学主催書道全国展

観心会理事長賞

第60回大東文化大学主催全国書道展

書道研究所所長賞

表現学部長賞

1月 第67回大正大学主催全国書道展

埼玉県知事賞

埼玉県西部新春書き初め秀作展

1月 第29回埼玉県西部新春書き初め秀作展

1月 第35回SHOBI高校生ソロコンテスト

優秀賞(打楽器)

5月 日本地球惑星科学連合大会

(高校生のポスター発表)

佳作

9月 埼玉県科学教育振興展覧会西部地区展

優良賞

吹奏楽部

7月 第8回県高等学校軽音楽コンテスト

西部地区予選 優秀賞

8月 第8回県高等学校軽音楽コンテスト決勝

奨励賞

11月 第6回埼玉県高等学校軽音楽新人大会予選

優秀賞

12月 第6回埼玉県高等学校軽音楽新人大会

準グランプリ

1月 High School Rockers ONLY U16 2019年新春大会

最優秀賞・優秀賞

2月 第4回県高等学校軽音楽ルーキーズフェス

最優秀賞・優秀賞

第四十二回全国高等学校総合文化祭信州大会に出場して

前 楽 部 顧 問 棚 井 裕 子

合唱活動を行う音楽部が復活して

8年の歳月が流れました。以来、多くの関係者の皆様に活動を支えてい

ただいたことに厚く御礼申し上げ

ます。

音楽部は、近隣高校と合同合唱團

を結成し、毎年行われる西部地区高

校音楽祭やお互いの定期演奏会に友

情出演するなど、単独の活動以外に

も幅広い活動をしてまいりました。

その活動が認められ、二〇一八年八

月、長野市ホクトホールで開催され

た第四十二回全国高等学校総合文化

祭合唱部門信州大会へ埼玉県代表と

して出場することができました。本

校のほか川越西・坂戸西・所沢北・

豊岡・飯能南・松山高校(五十音順)

の計七校、総勢九十四名の大合唱団

ですので、猛暑の中、練習会場の確

保や日程の調整など、合同ならでは

の苦労もたくさんありました。

前日に長野入りし、交流会に参加

全国の合唱を愛好する高校生たちと

親交を深め、またホスト役である地

元長野の高校生の熱い歓迎を受け、

演奏に向けて気持ちが高まりました。

本番当日は雨模様の中の出発でした

が、ホール入りする頃には青空が広

がり、アルプスからのさわやかな風

は私たちの大会出場を祝福してくれ

るかのようでした。二回のリハーサ

ルを経て本番のステージへ。曲は顧問

全員が一押しした信長貴富作曲の

「くちびるの歌」です。冒頭ドイツ語での重厚なハーモニー、続いて心に太陽を持ての美しい旋律。

曲想の変化也多彩で、顧問・生徒ともに途中で何度も挫折しかけ、出発前日によく全員の心が一つになる演奏ができた難曲です。講師席には作曲者である信長先生がいらっしゃり、大変緊張ましたが、生徒たちはこれまでの練習の成果を十分發揮し、埼玉県代表初の合同合唱団として立派な合唱をホールいっぱいに響かせました。

演奏から間もなく一年を迎えようとしていますが、今もあの時の生徒の歌声が心に響きます。生徒、顧問とともに一生忘れることができない素晴らしい時間を過ごせ、本当に幸せでした。

このたびの全国大会出場に際しましては、同窓会の皆様はじめ、学校関係者、保護者・地域の皆様からも多大なご支援をいただき心より感謝申しあげます。今年度も六月に第七回定期演奏会を開催するなど、さら

に発展していくよう日々頑張っております。今後とも音楽部をよろしくお願いいたします。



埼玉県西部地区7校合同合唱団

部活動報告

フォーク部

新しい練習方法の提案や外部指導者の活用による指導の充実、他校との交流の機会である「合同ライブ」への積極的な参加など活動内容の刷新を行いました。県内県外の四十九校と交流を深めてきました。対外的な活動は部員の視野を広げ、他校との交流の中で新たな人脈を築くとともに技術の向上や学校の代表として恥ずかしくない礼儀やマナーを意識する機会にもなりました。こうした活動の結果、以下の実績を残すことができました。

八月、県内四十四校六十九バンドが参加した第八回埼玉県高校軽音楽コンテストで三年生バンド「砂」が奨励賞(第三位相当)を受賞。

十一月、関東近郊の五十二校の軽音楽系部活動が参加した第四回 We are sneaker ages 関東グランプリ大会において埼玉県勢初のグランプリ校賞を受賞。結果、十二月に行われた同大会の関西大会で招待演奏。

十二月、県内四十五校七十四バンドが参加した第六回埼玉県高校軽音楽新人大会で一年生バンド「結」が準グランプリを受賞。

一月、関東近郊の約百三十バンドが参加をしたJYODI-ROCK U-16 大会で「The cleaner」が最優秀賞、「Lupinus」と「結」が優秀賞を受賞。

二月、県内四十四校九十五バンドが参加した埼玉県高校軽音楽連盟主催第四回ルーキーズフェスにおいて「The cleaner」が最優秀賞、「Lupinus」が優秀賞を受賞。

三月、関東近郊から有力な五十五バンドが選出された下北ハイスクール音楽祭に「砂」「The cleaner」他が出演。

活動の詳細はHP担当の部員が中心になり部活動HPに記事をまとめています。昨年度は六十回以上の更新をすることができました。記事は下記のQRコードから閲覧いただけます。



今後は全国レベルの大会での活躍を大きな目標として一層のレベルアップをはかりたいと思います。



関東大会を振り返って

演劇部部長 水村 早希

所高演劇部、通称「とこえん」です。私たちはこの度、関東大会に出場させていただきました。ここまで

道のりは易しいものではありませんでしたが、「もう一度観たい」と思ってもらえる舞台をつくる」という目標を元に、舞台に臨むことが出来ました。

練習は、二年一組の教室を拠点に、社会科教室を貸していただけるときは社会科教室で行いました。社会科教室は、間口(横幅)が、発表会場と同じくらいの広さなので、動きを確認できるからです。他の団体が使うときなどは、どこで練習しようかと、まず活動場所に困る、ということも多々ありました。そんな中、発表までの練習時間を如何に確保するかを考え、放課後はもちろん、朝など使えないような時間を見つけて練習に励みました。

稽古は大変でしたが、中央発表会(県大会)や関東大会を観に来てくださった方に、「感動したよ」「観ることができてよかったです」など励ましとお褒めの言葉をいただき、とても嬉しかったです。

関東大会は、「栃木市栃木文化会館」で行われました。栃木ということもあり、二泊三日の泊まりがけで



の大会でした。部員と発表前日の緊張と共にしつつ、当日を迎えました。

あの舞台は、一生の思い出になります。部員一人ひとりの成長に繋がったのではないかと思います。結果としては、「優秀賞」をいただくことができました。

三年生は、四月に行われた「春季高校演劇祭」を最後に引退となりました。しかし、「とこえん」は後輩たちがしつかり引き継いでくれると思います。「もう一度観たい」と思ってもらえる舞台」を目指して、後輩たちにも、より一層稽古に励んでくれることを期待しています。

同窓生のみなさん、これからも「とこえん」をよろしくお願ひします。

平成31年度入試結果 大学・短大合格者数 (平成30年度卒業生・既卒生)

国 公 立 大 学	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	埼玉大	1	1	1	1	1	1
	広島大		1	1		1	1
	電気通信大		1	1		1	1
	計	1	2	3	1	2	3
	平成30年度入試	12	4	16	10	3	13

私 立 大 学	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	青山学院大	3	3	3			3
	麻布大	2	2	1			1
	亜細亜大	14	3	17	5	1	6
	跡見学園女子大	9	1	10	5		5
	桜美林大		1	1			0
	大妻女子大	3		3	2		2
	学習院大	4	9	13	2	2	4
	関西外大	1		1	1		1
	共立女子大	0	1	1	0		0
	杏林大	9		9	5		5
	近畿大	1		1	1		1
	工学院大	2		2	1		1
	国立音大	1		1	1		1
	国学院大	3	2	5	2		2
	國立館大	3		3	2		2
	駒澤大	6	4	10	4	1	5
	駒沢女子大	1	2	3			0
	埼玉医大	1		1			0
	埼玉学園大	1	0	1			0
	埼玉工業大	1		1	1		1
	産業能率大	1		1	0		0
	実践女子大	8	1	9	5		5
	芝浦工大	4	1	5	2		2
	秀明大	1		1			0
	十文字学園女大	15	2	17	7		7
	淑徳大	2		2	1		1
	順天堂大	2		2	2		2
	城西大	6	3	9	4	2	6
	城西国際大	2		2	2		2
	上智大	2		2	2		2
	湘南工科大	1		1			0
	尚美学園大	1		1	1		1
	昭和薬大	1		1	1		1
	昭和女子大	6		6	4		4
	女子栄養大	1		1	1		1
	女子美大	3		3	1		1
	白梅学園大	2		2	2		2
	白百合女子大		2	2		1	1
	駿河台大	3		3	2		2
	成蹊大	12	3	15	7	1	8
	成城大	3	2	5	3		3
	西武文理大	1	2	3	1		1
	専修大	3		3	2		2
	創価大	2		2	2		2
	大正大	2		2	1		1
	大東文化大	19	4	23	6	2	8
	高千穂大	1		1			0
	拓殖大	9	2	11	5	1	6
	玉川大	2		2	1		1
	多摩美大	3		3	2		2
	千葉科学大	0	1	1		1	1
	千葉工業大	2		2	2		2
	中央大	8		8	7		7
	津田塾大		1	1			0
	帝京大	20	2	22	9	1	10
	帝京平成大	2		2	1		1
	東海大	3		3	2		2
	東京医大	1		1			0
	東京医療保健大	3		3			0
	東京家政学院大	1		1			0
	東京家政大	19		19	11		11
	東京経済大	12		12	6		6
	東京工科大	8	1	9	5	1	6
	東京工芸大	2		2	2		2
	東京工芸大	2		2	2		2

私 立 大 学	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	東京国際大	11		11		5	5
	東京慈恵会医大	1		1		1	1
	東京女子医大	1		1		0	0
	東京造形大	0	1	1		1	1
	東京電機大	4	3	7	3	3	6
	東京都市大	1		1		1	1
	東京農大	1	1	2	1	1	1
	東京福祉大	2		2	1	1	1
	東京理大	4	1	5	4	1	5
	東洋大	24	8	32	15	1	16
	東洋学園大	1		1		0	0
	獨協大	7	4	11	1	1	2
	二松学舎大	0	1	1		0	0
	日赤看護大	1		1		0	0
	日本大	20	4	24	11	2	13
	日本医療科学大	1		1	1	1	1
	日本映画大	1		1		0	0
	日本工業大	5		5	2		2
	日本社会事業大	2		2	2		2
	日本獣医生命大	1		1	1		1
	日本女子大	2	1	3	2		2
	日本体育大	1		1	1		1
	人間総合科学大	1	0	1		0	0
	文化学園大	3		3	2		2
	文教大	2	1	3	1	1	2
	文京学院大	6		6	3		3
	法政大	10	8	18	7	2	9
	武蔵大	10		10		4	4
	武蔵野大	1	1	2	1		1
	武蔵野学院大			1	1		1
	武蔵野美大	1	1	2		1	1
	明海大	1		1		0	0
	明治大	7	6	13	5	2	7
	明治学院大	1	3	4	1	1	1
	明治薬大	2		2	2		2
	明星大	21		21	4		4
	目白大	4	1	5	1		1
	立教大	6	7	13	5	3	8
	立正大	6		6	5		5
	早稲田大	2		2	2		2
	計	439	103	542	243	33	276
	平成30年度入試	559	84	643	246	33	279

短 期 大 学	短大名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	武蔵野短大	1		1			
	山野美容芸術短大	1		1	1		1
	大妻女大短大部	1		1			
	実践女大短大部	1		1	1		1
	淑徳大短大部	1		1	1		1
	東京家政大短大	1		1	1		1
	計	6	0	6	4	0	4
	平成30年度入試	11	1	12	9	1	10

卒 業 生 集 計	種 别	平成31年3月卒			平成30年3月卒		
		4年制大学	短期大学	専門学校(各種学校を含む)	その他の進学(留学等)	就職(公務員含む)	未定(浪人含む)
	一般入試	243	4	34	0	4	298
	公募推薦・AO	19	12	6	1	1	1
	指定校推薦	1	5	1	0	2	48
	合 計	19	19	11	11	4	363
	現役進学率	79%					82%
入 試 方 法	平成31年3月卒業生	大 学	短 大	専門学校			
	一般入試	162	1	23			
	公募推薦・AO	33	1	11			
	指定校推薦	48	2	0			
	合 計	243	4	34			

平成31年3月卒業 同窓会クラス幹事

1組	中井 大洋	堀米 美音
2組	中野 梨加	新倉 まや 雪美
3組	神能 悠人	上村 遥
4組	小林 冬萌	萩原 あかね
5組	秋葉 駿太	野澤 舞
6組	木下 康輔	篠崎 日菜
7組	嵯峨 菜摘	中島 隆一
8組	中村 駿仁	室塚 悟生
9組	笠井俊祐・金井和奏	畠山 岐吏

2019年度(令和元年度) 同窓会役員

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
顧問	肥沼 金治	30	監事	岡村 能成	47	常任幹事	桑原 浩一	55
顧問	島田 孝男	33	常任幹事	小沢 郁夫	29	常任幹事	大木 健介	59
顧問	当麻 実	36	常任幹事	杉谷 正司	32	常任幹事	大村 力	60
会長	松本 明信	38	常任幹事	秋谷 積利	36	常任幹事	宇津山 崇輔	H2
副会長	岩岡 民枝	29	常任幹事	木原 勝芳	36	常任幹事	神澤 泰大	H6
副会長	森田 貢	32	常任幹事	原江 利勝	37	常任幹事	宇賀神 大祐	H15
副会長	西久保 一正	41	常任幹事	河原 大勝	39	常任幹事	金子 尾祐	H20
副会長	本橋 栄	43	常任幹事	谷 古富	43	常任幹事	松曾根 一豪	H24
副会長	山下 成	59	常任幹事	澤 真行	44	校長	安井 一男	
副会長	三上 己巳	61	常任幹事	田 喜久	45	事務部長	谷 曜彦	
副会長	秋田 央恭	62	常任幹事	館 廣隆	46	事務局	井 石井 一政	
会計	石井 里子	37	常任幹事	井 駒	50	事務局	田 正浩	
会計	瀧島 孝一郎	43	常任幹事	下 喜久	53	事務局		
監事	木村 一男	44	常任幹事	原 田	54			

平成30年度 埼玉県立所沢高等学校同窓会決算報告書

1. 収入の部						(単位:円)
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	摘要	要	
(1)会費	4,380,000	4,356,000	▲ 24,000	入会金(2,000円)および終身会費(10,000円)×363名	4,356,000	
(2)雑取入	20,000	105,220	85,220	1987年卒業生寄付金 バッジ・名簿売上	100,000 5,000	
(3)繰越金	10,298,857	10,298,857	0	利息 平成29年度より繰越	220 10,298,857	
計	14,698,857	14,760,077	61,220			

2. 支出の部						(単位:円)
科 目	予 算 額	流用増減額	予算現額	決 算 額	残 額	摘要
(1)同窓生支援費	500,000	0	500,000	297,275	202,725	同窓会開催支援 所高祭り係 卒業アルバム代 ホームページ更新
(2)在校生支援費	500,000	289,649 (予備費より流用)	789,649	789,649	0	支援プログラム謝礼等 部活動助成 卒業記念品 バッジ
(3)同窓会報費	3,000,000	0	3,000,000	2,566,091	433,909	印刷代 発送代 1,779,515
(4)会議費	100,000	0	100,000	16,083	83,917	会議用茶菓
(5)事務費	200,000	0	200,000	19,002	180,998	ハガキ代 市内旅費 切手
(6)諸費	200,000	0	200,000	5,000	195,000	副会長香典
(7)会館整備費	400,000	0	400,000	226,810	173,190	備品代 備品購入
(8)周年行事助成費	500,000	5,089,728 (予備費より流用)	5,589,728	5,589,728	0	周年行事助成費 600,000
(9)予備費	9,298,857	▲ 5,379,377	3,919,480	0	3,919,480	人工芝工事 4,989,728
計	14,698,857	0	14,698,857	9,509,638	5,189,219	

平成30年度収支
収入決算額 4,461,220円
支出決算額 9,509,638円
残額▲5,048,418円

3. 積立金 2,000,000円(埼玉りそな銀行所沢支店)
平成30年度決算報告書及び証拠書類を監査した結果、相違ないことを証明いたします。
令和元年5月7日 監事 木村 一男 監事 岡村 金成

上記の通り報告いたします。
令和元年5月11日 埼玉県立所沢高等学校同窓会長 松本 明信

令和元年度 埼玉県立所沢高等学校同窓会予算書(案)

1. 収入の部						(単位:円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要	要	
(1)会費	4,320,000	4,380,000	▲ 60,000	平成30年度 3学年 360名 × 12,000円		
(2)雑取入	20,000	20,000	0	校章バッジ・記念誌等売上、利息		
(3)繰越金	5,250,439	9,476,087	▲ 4,225,648	平成30年度より繰越		
計	9,590,439	13,876,087	▲ 4,285,648			

2. 支出の部						(単位:円)
科 目	本年度予算額	昨年度予算額		摘要	要	
(1)卒業生支援費	500,000	500,000		名簿発行、ホームページ管理、所高祭企画実施、その他同窓会・同窓会開催支援にかかるもの		
(2)在校生支援費	500,000	500,000		在校生支援プログラム謝礼、部活動助成、卒業記念品、その他在校生支援にかかるもの		
(3)同窓会報費	3,000,000	3,000,000		印刷、発送、その他同窓会報の編集にかかるもの		
(4)会議費	100,000	100,000		役員会・総会茶菓等		
(5)事務費	200,000	200,000		郵券・ハガキ・郵送代(同窓会報発送以外)、市内旅費、その他消耗品(資料整理用箱等)		
(6)諸費	200,000	200,000		慶弔費その他		
(7)会館整備費	400,000	400,000		会館清掃費、その他備品等の購入補助・整備補助にかかるもの		
(8)周年行事補助費	100,000	500,000		周年行事にかかる補助費		
(9)予備費	4,590,439	8,476,087				
計	9,590,439	13,876,087				

3. 積立金 2,000,000円(埼玉りそな銀行所沢支店)
令和元年5月11日

埼玉県立所沢高等学校同窓会

同窓会総会・活動報告

五月十一日に同窓会役員会・総会が開催されました。十一ページのよう、新役員・決算・予算が承認されました。

昨年度、同窓会会員名簿・記念DVDができましたが、若干の残部があります。会員名簿は四千五百円、DVDは千円(十寄付)で販売しています。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。



また、在校生支援プログラム、所高祭での同窓会コーナー(所高祭九月七日(土)・八日(日))もさらに発展させて行く予定です。なお、恐れ入りますが、校内に駐車スペースがございませんので、ご来校の際には公共交通機関をご利用ください。

所沢高校同窓会 ホームページ

<http://www.tokoko-dosokai.jp>

○主な内容は ・歴史写真館 ・校歌、応援歌 ・同窓会報バックナンバー
・著名な同窓生 ・会員交流のページ ・クラス会の連絡、報告等

◇会報バックナンバーは、次のID・パスワードを入力のうえ、開いて下さい。

ID : **tokoko** パスワード : **midorino**

会員交流のホームページは、ホームページから個々に登録することで、使えるようになります。

HP開設の目的は、会員の皆様への情報提供ですが、それ以外にも、現役の所高生やこれから所高を受験しようと考えている中学生やその保護者の方への情報発信にも役立てば、と考えています。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。

お願い

(クラス会等の幹事さんへ)
クラス会の開催予定や、楽しい報告がございましたら、ぜひお知らせ下さい。

INFORMATION

- 『所沢高校百周年記念誌』、写真冊子『所沢高校百年の歩み』、校歌・応援歌・商業学校学生歌・女学校朝会歌を収録したCDをご希望の方は所沢高内の同窓会事務局までご連絡ください。
- クラス会・同期会の幹事さんへ(お願い)
同窓会の様子を同窓会報の記事としてお寄せいただければ幸いです。ご協力をお願いいたします。
- 同窓会報で取り上げて欲しい話題等ありましたらご一報ください。また、活躍なさっている同窓生の方をご存知でしたらお知らせください。

- 住所変更等の場合は、ハガキなどの文書でご連絡ください。その際、記入欄は必ず記入ください。未記入の場合はお受けできない場合があります。なお、ハガキでの連絡で、個人情報を隠したい方は、お手数ですがハガキを封筒に入れご郵送ください。
- 同窓会名簿の取り扱いにはご注意をお願いいたします。名簿発行は、同窓会名簿に掲載されている同窓生の方の申請のみの受け付けとなります。発行のために身分証明書ご持参の上2度ほど所沢高にご来校いただくことになります。個人情報保護のため煩雑な手続きとなっておりますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。手続きの詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

印刷 049 (222) 1989	駒井光明氏(昭和50年卒) 会報題字 毎日展審査会員
----------------------------	----------------------------------

所沢高校の百二十一年目は、令和元年ということになりました。明治、大正、昭和、平成、令和の五つの元号を経たことになります。あらためて歴史の長さを感じます。昭和十五年卒の仲さんのお話を聞きして、そのパワーとユニークな人生は、「所高生ここにあり」と感じました。時代は変わつて所高生の伝統は當々と引き継がれていくことを願っています。

編集後記

加入者名 期間	埼玉県立所沢高等学校 令和2年2月末日
口数 振り込み 口座番号	1 口 2、000円 郵便振り込みで 00120-16-
振込年 年	53754 2020

後援会事業は以下の3つの事業を通りで、本校の教育の発展・振興に大きく役立っています。
1 年とし、翌年度の会費納入をもつて更新する(後援会会則第4条2項)ことになります。会費の納入については以下の様にお願い致します。
賛助会員は本会の趣旨に賛同いただけます。会員の期間は原則として3年とし、教育活動への助成各行事への助成

所沢高等学校後援会 賛助会員加入のお願い